

# 植田っ子

令和6年度  
学校便り NO.1 4月号  
高松市立植田小学校  
令和6年4月8日発行



美しい桜の花とともに令和6年度がスタートしました。今年の春は雨が多く、桜花にしっとりした露が輝き、柔らかい雰囲気の日々です。

子どもたちは元気いっぱいの挨拶で、やる気と学校生活への期待を強く感じました。

私たち教職員一同は、「『教師力』の高いダイナミックな教職員集団《チーム植田》」を合い言葉に、子どもたち一人一人を見つめ、子どもたちがもつそれぞれのよさを大切にしながら、よりよい成長をめざし、支援して参ります。

今年も地域の方から様々なことを学びながら、教育活動を進めていきたいと考えています。

本年度も引き続き、本校の教育にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

緑いっぱいの植田小学校です！

★ 校歌に思う ★



脇 太一 作詞、熊野 力王 作曲の本校の校歌は、植田のよさがちりばめられた素敵な校歌だと思っています。1番を紹介します。

「松吹く風もさわやかに」は、校舎正門の立派な松の木から、遊具で遊ぶ児童を優しく包むさわやかな風を想像します。最初の歌い出しのこの部分が、私は好きです。

「さみどりにおう藤尾山」は、早春の若々しい緑で、藤尾山一帯の植田の緑のすばらしさを感じられます。「さみどりにおう」という言葉の使い方に感心しています。

「あおぐ瞳に日は映えて」で、子どもたちが登場します。登校時、正門に向かう坂道を歩む子どもたちに、朝日が差します。あいさつをする子どもたちの瞳はきらきらと輝いています。歌詞の通りだと毎朝思っています。

「今日も楽しくかようのは、植田の学校 よい学校」

その通りです。この校歌に歌われている素晴らしい学校を作るために、全力で頑張りたいと思います。